

「茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略」素案及び「茨城県人口ビジョン」素案に対する意見募集結果

- 1 意見募集期間 平成27年10月5日（火）から平成27年10月25日（日）
- 2 募集方法 茨城県及び政策審議室のホームページにて掲載
県政策審議室、行政情報センター、各県民センターにて閲覧
- 3 応募状況 応募数 8名
意見数 8件
- 4 意見の概要及び県の考え方

番号	意見概要	意見に対する考え方・回答
1	<p>私の実家のある地域では、結婚できない男性がたくさんいるが、これは、若い女性の数が少ないからだと思う。</p> <p>男性は、50才を過ぎると親の介護が足かせとなって結婚から遠のいてしまう。是非とも、若い男女の結婚を促進する施策を進めていただきたい。</p>	<p>基本目標3において、「(イ)結婚支援の充実」を図ることとしており、若者に対し、自分の家庭を持つことの素晴らしさ等の意識啓発を行うとともに、社会全体で結婚を支援する機運を醸成してまいります。</p> <p>また、「いばらき出会いサポートセンター」のサービス向上やマリッジサポーターの活動強化等により、未婚の男女が広く出会うことのできる機会を提供してまいります。</p>
2	<p>自分の息子は、地元でやりたい仕事がないことから、東京都内の大学を卒業した後、そのまま東京都内で就職してしまった。東京圏から企業誘致を進め、魅力ある雇用の場を創って欲しい。そうすれば、若者がいったん東京に出たとしても、茨城に戻ってくるのではないかと。</p>	<p>基本目標1において、つくば・東海の最先端科学技術やものづくり産業の集積を生かし、未来産業や新産業を創出に努めますとともに、魅力ある観光産業の振興や、企業誘致の更なる推進を図るなど、魅力ある雇用の場を確保してまいります。</p> <p>また、基本目標2において、県外の新規学卒者の本県へのU I Jターンを促進いたしますとともに、県内大学の卒業生につきましても、県内企業へのインターンシップや就職面接会の開催などにより、地元定着率の向上を図ってまいります。</p>
3	<p>総合戦略には、茨城県が地方創生を目指すうえで、大事なことが沢山盛り込まれていると思うが、どの項目に力を入れて取り組んでいくのか伝わりづらい。施策を取捨選択するなどしてはどうか。</p> <p>また、その際、重点的に考慮すべきものとしては、地元で就労できるための施策や、結婚して子供を産み育てることを応援する施策だと思ふ。</p>	<p>総合戦略の推進にあたっては、将来を見据えて、今後5年間の取り組みをより実効性のあるものとするため、特に重点的に取り組む21の施策項目を「重点施策」として位置づけております。</p> <p>ご意見のありました、地元で就労できるための施策や、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるための施策につきましても、戦略に位置づけるとともに、重点施策としても取り組んで行くこととしております。</p>

番号	意見概要	意見に対する考え方・回答
4	<p>新聞報道で、TPPに関する記事を目にすると不安になる。茨城県は農業県であるので、農業で働いて暮らしていくことができることが大事であり、兼業農家が農業を続けられることも重要だと思うが、農業で生計を立てていく人を応援して欲しい。</p>	<p>本県は全国第二位の農業県であり、引き続き日本の農業をリードしていくよう、基本目標1において、「(エ)農林水産業の成長産業化」を掲げており、差別化商品づくりによるブランド化などの産地づくりや、6次産業化・農商工連携の促進、海外への輸出拡大、さらには中核的な経営体の育成などにつきまして戦略に位置づけて取り組んで行くこととしております。</p>
5	<p>魅力的な仕事があれば、地元に残りたいという若者はそれなりにいると思われる。そのために、県としてどのように取り組むのが求められているのではないかと。これから成長する産業を集中的に支援して、茨城県の発展の青写真を描いて欲しい。</p>	<p>つくば・東海に我が国を代表する最先端の科学技術が集積するという本県の特徴を生かし、基本目標1において、県内研究機関・大学等のシーズを活用して産学官連携による研究開発を推進することなどにより、県内中小企業の新製品開発や成長分野への進出を促進する施策を戦略に位置づけるなど、魅力ある雇用の場の確保や地域経済の活性化に取り組んで行くこととしております。</p>
6	<p>茨城県はいつも魅力度が最下位とされており、とても残念である。実際には、おいしい食べ物がたくさんあり、とても暮らし易いところだと思うので、是非、茨城県の良いところをもっとアピールして欲しい。</p>	<p>茨城国体や東京オリンピックの開催を控え、豊かな自然や歴史などの魅力ある地域資源などの活用を図るとともに、国内外から人を呼び込めるよう関連施策を戦略に位置づけて取り組んで行くこととしております。</p> <p>また、東京圏との近接性や穏かな気候などの本県の特性を生かし、本県への移住等についても推進してまいります。</p>
7	<p>結婚・出産・子育ての希望の実現を目指すうえでは、まずは若い世代に、家族をつくる大切さや生命の尊さなどを意識してもらうことが重要ではないかと。そのためには、子供の頃から家庭での意識付けや学校教育の中でも取り組んで頂きたいと思う。</p>	<p>基本目標3において、家族の役割や責任について、保護者の自覚を促すため、学習機会や情報の提供などに取り組み、家庭教育の充実を支援いたしますとともに、若者に対して、自分の家族を持つことの素晴らしさなどの意識啓発を行ってまいります。</p>
8	<p>地方においては、買い物や医療機関などへの交通手段は、自家用車頼みであり、今後、急速に人口減少・高齢化が進むなか、どのように確保していくのか大きな問題になってくると思う。特に、電車やバスといった公共交通機関の空白地帯では、高齢者や子供などの交通弱者が困ってしまうことから、自動車を運転しなくても生活出来るような交通システムの検討が必要に感じている。</p>	<p>日常の移動手段の確保は、地域住民の生活を支え、将来にわたって暮らし続けられる社会を形成するうえで不可欠でありますので、基本目標4において、地域公共交通の維持について戦略に位置づけて取り組んでいくとともに、「コンパクトシティ」の形成を進める市町村や、生活支援サービスの維持に取り組む市町村を支援してまいります。</p>